

全国農業



2023年(令和5年)

10月特集号

早めの加入で将来に安心 同世代の仲間にも伝えたい

山梨市 金子 雄輝さん

【山梨】山梨市でモモ、ブドウを栽培する「ゆうき農園金子」の園主、金子雄輝さん(35)。大学卒業後、東京の農業法人で1年間、さらに山梨県の果樹試験場で3年間農業に携わる仕事を経験した後、2015年に50年以上続く果樹農家の3代目として就農した。

り、栽培面積も徐々に拡大しているという。そんな金子さんが農業者

を知った。老後について真

年金と出合ったのは就農して間もないころ。近所に住む農業者年金に加入している先輩農家から、農業者のための年金制度があることを知った。老後について真

剣に考えるようになった金子さんは、先輩農家に加入の相談をしたところ、将来受け取る年金を自分で積み立てる少子高齢化時代に強い積立方式であることや、支払った保険料が全額社会保険控除の対象となり税制面が優遇されることなど農業者年金制度について理解を深めた。そして、18年に加入した。

「要件を満たしていれば保険料の補助を受けられるのも魅力に感じた」と当時を振り返る金子さん。自身が農業者年金制度のことを先輩農家から聞くまで知らなかった経験から、「農家の将来を考えると良い制度なので、これからも同世代の仲間伝えていきたい」と笑顔で話した。



先輩農家からの説明を契機に加入した金子さん

今年で就農して9年目。今では地元の先輩農家からも一目置かれるようにな